

TOYO・TACHI

H25.4月号



花びらの舞う中に、春の妖精のようなとてもきれいな女の子。花の冠を頭にかかげて。

完成度の高い素敵な今月号の表紙です。

ネイルが趣味と伺いました。ショッピング、お友達とお話されることが大好きで、お菓子作りが得意なかわいらしい女の子が描いて下さいました。

春らしい明るい暖かな表紙ありがとうございました。

院長はじめスタッフ一同、心より感謝いたします。



医療法人 優慶誠会

豊郷たちかわ皮膚科クリニック*

＜私が改めなければいけない事＞

中国古典の一つに「小学」という書物があります。

「朱子」と「劉子澄」という人が作った道德の教本とも言えるもので、主に年少者のための初級テキストに用いられました。躰や礼儀作法、先人等の善行の記録、名言等をまとめた修身作法の書物です。

日本では江戸時代に武士の家庭教育や子女教育の主流を成していた「朱子学」として姿を変えたと言われています。その「小学」に次の一節が書かれています。

「古の小学、人を教うるに洒掃・応対・進退の節、親を愛し、長を敬し、師を隆び、友に親しむの道を以てす。皆身を修め、家を齊え、国を治め、天下を平らにするの本と為す所以なり」とあります。訳はこうです。小学において、先ずは洒掃、応対、進退の 3 つが人を育てていく中で先ずもって最初に大切な事であり、そして親を愛し目上の人を敬い自分の先生を尊び友を親しむ、これらを行っていれば自分が成長し家がととのい、延いては国が安体になる。ということでしょう。

洒掃＝掃除：人間育成上最も基本となる。

応対＝挨拶：親から子供に繰り返しアプローチし習慣化させる。

進退＝立ち振る舞い：脱いだ靴を揃える。トイレをきれいに使う。など。

作法のこと

洒掃・応対・進退は他の国にはみることが出来ない海外に誇れる日本の美学であり美徳です。ある説では戦後アメリカは、この日本独自の美徳を恐れ、これらを完全に否定させることで日本人を骨抜きにしてきたという人さえいます。

私はこの意見を間違っていない様に思います。

しかし私は未だ我が子にこの様な（小学の様な）、よく考えると日常生活上当たり前のことを教えていないと思います。伝えていこうと思っています。

院長：刀川 栞